

# 阿蘇の火砕流が紡ぐ大地と人の物語

私たちが暮らす九州は、太古より火山活動が活発な場所です。その中でも、ひとときわ激しく噴火し、約27万年から4回にわたり、九州の大地を焼き尽くした火山があります。その山の名は「阿蘇山」。この阿蘇山から噴出した大量の火山灰や土砂は、当時の生態系を壊滅させましたが、今を生きる私たちにとって文化や歴史を育むきっかけになりました。

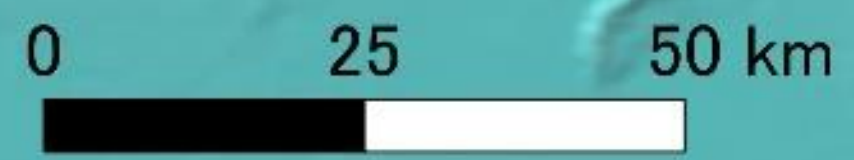
『火山と共生する人々』が写真展のテーマです。



水不足に悩む台地を救うため嘉永7年(1854年)に完成した水道橋。日本最古の現役水道橋であるこの石橋は、火砕流によって生じた阿蘇溶結凝灰岩でつくられています。



天孫降臨の神話で有名な景勝地。阿蘇溶結凝灰岩が削られた深さ100mに及ぶ渓谷は、火砕流によって生じた堆積物からなっています。





阿蘇ユネスコ世界ジオパーク

か さい りゅう  
**火砕流の出口 阿蘇カルデラの今**

熊本県阿蘇ジオパーク



27万年前から9万年前にかけて起きた4回の巨大噴火によって火砕流かさいりゅうが九州中部・北部を覆い尽くしました。その後、新たに中央火口丘群ちゅうおうくわくちゅうぐんができています。九州各地の地形や文化に大きな影響を与えたカルデラの姿です。



阿蘇ユネスコ世界ジオパーク

## 阿蘇の開拓物語

熊本県阿蘇郡南阿蘇村



阿蘇カルデラは大分ー熊本構造線で発生する地震によって西側壁が破壊され、カルデラ湖の水が外へ流れ出た後に人々が暮らせるようになりました。この地球科学的な事実は、阿蘇開拓の神「健磐龍命」の蹴破りの物語として語り継がれています。



おおいた豊後大野ジオパーク

# 大地に翼を広げる こうもり蝙蝠の滝

おがた まり くさぶかの  
豊後大野市緒方町草深野



大野川本流にかかる高さ約10mの滝で、こうもりが翼を広げているように見えることから名づけられたと言われています。明治時代に滝を迂回して舟で物資を輸送するための水路が造られました。



おおいた豊後大野ジオパーク

# 日本一、二位のアーチ<sup>けい</sup>径

## 出会<sup>で</sup>橋<sup>あい</sup>・轟<sup>とどろ</sup>橋<sup>ばし</sup>

豊後大野市清川町平石

アーチ<sup>けい</sup>径が日本一(奥・轟<sup>とどろ</sup>橋<sup>ばし</sup>)と日本二位(手前・出会<sup>で</sup>橋<sup>あい</sup>)の石橋です。出会<sup>で</sup>橋<sup>あい</sup>は鉄道開通の際に両岸の集落を行き来するために架けられ、轟<sup>とどろ</sup>橋<sup>ばし</sup>は山の木材を運搬する森林鉄道として架けられました。





おおいた豊後大野ジオパーク

# 人々の祈り すが お ま がい ぶつ 菅尾磨崖仏

豊後大野市三重町浅瀬



平安時代後期の作で、約9万年前の阿蘇火砕流の溶結凝灰岩に彫られています。磨崖仏は立体的に彫られていて、岩に彫られたとは思えないほど端正で優美な仕上がりです。彫刻として国の重要文化財指定を受けています。



島原半島ユネスコ世界ジオパーク

# 歴史の陰にジオあり はら じょう あと 原城跡

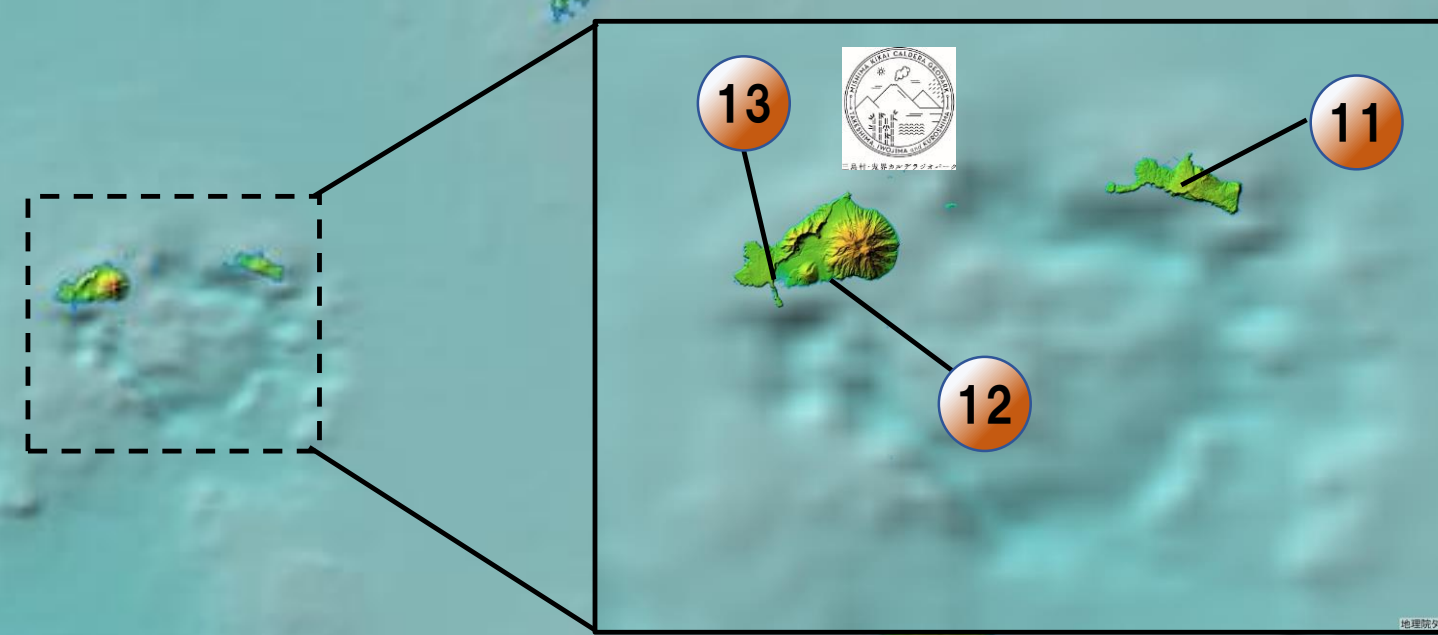
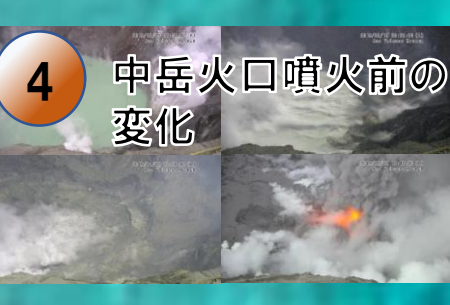
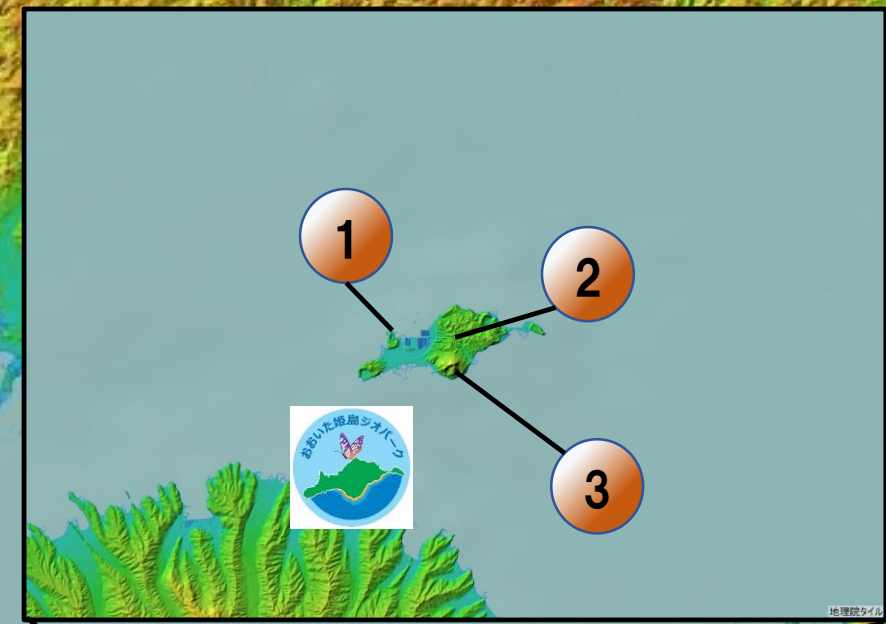
長崎県南島原市南有馬町

1637年から1638年にかけて生じた「島原・天草一揆」の最終激戦地で、ユネスコ世界文化遺産にも登録されている原城跡。歴史的舞台となった海に突き出た高台は、阿蘇山の巨大な火砕流が作り出しました。もし、この火砕流が流れてこなかったら、歴史が変わっていたかもしれません。

# ジオパークが誇る美しい火山や火山地形

私たちが暮らす九州には、美しい裾野をつくる火山やその火山活動によってつくられたダイナミックな地形があります。このような火山や地形はどのようにして生まれてきたのでしょうか？また、そこにはどんなドラマが隠されているのでしょうか？

なぜを楽しむ場所≡『ジオパーク』。それをテーマにした写真展をぜひ楽しんで下さい。







おおいた姫島ジオパーク

# 火山が生みだした美しい石 かん のん ざき 観音崎

大分県姫島村



こく よう じま 黒曜石は、溶岩が冷えて固まり、ガラスのようになった石です。じん のん ざき 観音崎の黒曜石は、縄文時代を中心にこく よう じま 石器に加工され、西日本各地で使われました。平成19年に「姫島の黒曜石産地」として国の天然記念物に指定されています。



おおいた姫島ジオパーク

# 旅する蝶<sup>ちょう</sup>アサギマダラの乱舞 アサギマダラ休息地(春)

大分県姫島村

アサギマダラは渡りをする蝶<sup>ちょう</sup>で、春と秋に1,000kmを超える旅をすることが知られています。姫島はアサギマダラの旅のルートにあたり、年に2回飛来<sup>ひらい</sup>します。春は、5月～6月頃に、みつけ海岸のスナビキソウに集まり休息します。





おおいた姫島ジオパーク

## 姫島のシンボル や はす だけ 矢筈岳

大分県姫島村

姫島最高峰、標高266.6mの矢筈岳は、約9万年前に活動した火山で、複数の溶岩ドームが頂をつくる美しい形から、姫島富士と呼ばれています。





阿蘇ユネスコ世界ジオパーク

なか だけ  
**中岳火口噴火前の変化**

熊本県阿蘇市

なか だけ  
中岳火口湖は噴火に向けて様々に表情を変えます。その様子は阿蘇火山博物館の火口カメラからリアルタイムで見ることができます。



画像提供：阿蘇火山博物館



霧島ジオパーク

## 初夏に火山の斜面を ピンク色に染めるミヤマキリシマ

鹿児島県霧島市 御鉢火山

大正時代まで頻繁に噴火を繰り返し、現在も植生に乏しい御鉢火山は、日当たりの良い火山性の土壌を好むミヤマキリシマにとって最適な環境と言えます。





霧島ジオパーク

# 姿を変えていく新燃岳

宮崎県小林市 新燃岳上空



新燃岳は2011年以降の度重なる噴火によって、その姿を大きく変化させています。2018年の噴火では、パンケーキ状の溶岩が火口を満たし、その一部が火口の縁からあふれ出しました。



霧島ジオパーク

おお なみの いけ  
**秋の大浪池**

鹿児島県霧島市 おお なみの いけ 大浪池



おお なみの いけ  
紅葉の季節の大浪池では、ブナやミズナラの黄色、カエデ類の赤、モミやツガの緑、湖面と空の青による美しい色の組み合わせを楽しむことができます。



桜島・きんこうわん錦江湾ジオパーク

## 積雪の桜島

鹿児島県たるみずし垂水市

桜島の夜の噴火の様子です。山頂に積もった雪の白色とマグマの赤色のコントラストが神秘的でとても美しい1枚です。桜島は約26,000年前の始良カルデラの噴火をきっかけに誕生しました。北岳と南岳の2つの火山の複合体となるため、横長に見えます。







桜島・きん こう わん 錦江湾ジオパーク

## 地元の日常 桜島

鹿児島県たる みず し 垂水市



年によっては数百回も噴火があるため、桜島が噴煙ふん えんを上げてても、鹿児島の人にとっては慣れっこです。火山と長く共生してきた鹿児島では、防災体制も整っており、生活の工夫もなされています。



桜島・きんこうわん 錦江湾ジオパーク

## 活火山と都市の共生 桜島

鹿児島県鹿児島市上空



世界最高レベルの火山観測体制のもと、充実した防災対策を行うことで、ふんえん 噴煙のあがる火山の近くで多くの人が生活しています。鹿児島は、活火山と都市が共生している世界的にも珍しい場所なのです。



三島村・鬼界カルデラジオパーク

## 島の営みを支える さ た うら 佐多浦牧場

三島村竹島

アカホヤ噴火の影響でなだらかになった大地に、笹が生え、豊かな牧草地になっています。火山の恩恵をうまく利用し、三島村の人々は畜産業を営んできました。





三島村・鬼界カルデラジオパーク

や しゅ **野趣あふれる露天風呂** ひがし おん せん **東温泉**

い おう じま **三島村硫黄島**



火山の恩恵を受けて、湧き出る温泉が海に流れ出しています。温泉の成分と海水が反応して、青いグラデーションを描き出します。



三島村・鬼界カルデラジオパーク

# 火山がおりなす絶景 みさき ばし 岬橋

い おう じま  
三島村硫黄島

い おう じま 硫黄島の象徴、い おう だけ 硫黄岳・いな むら だけ 稲村岳、なが はま わん 長浜湾を一望できる「みさき ばし 岬橋」で撮った写真。温泉と反応した海水が、潮の流れとともに赤いグラデーションを描き出します。





島原半島ユネスコ世界ジオパーク

# 島原半島誕生の大地

# 早崎半島

長崎県南島原市くらのつ口之津町



天草地域や宇土半島が見渡せる島原半島屈指の絶景。絶景が見られるこの場所は、約430万年前に島原半島を誕生させた火山噴火によってつくられました。



島原半島ユネスコ世界ジオパーク

## 平成と江戸を象徴する山々

長崎県島原市秩父が浦町 沖合



島原半島の火山活動史を語る上で欠かせない2つの山。1つは、約30年前に雲仙普賢岳の噴火でつくられた平成新山(写真左奥)。もう1つは、「島原大變・肥後迷惑」という言葉で伝わる江戸時代に起きた山崩れと、それに伴って大津波を発生させた眉山(写真右手前)です。



五島列島ジオパーク構想

# 五島のシンボル おに だけ 鬼岳

長崎県五島市かみ おお づ まり上大津町



鬼が付く名前とは裏腹に、山全体が緑の芝生に覆われた美しい火山です。頂上まで気軽に行くことができ、市民憩いの場所になっています。標高は315m。





## 五島列島ジオパーク構想

# 増田火山の噴火口 蓮寺・野中

長崎県五島市浜町



約30万年前に噴火した増田火山の噴火口で、現在は栗林として活用されています。冬になると、葉が落ちた栗の木と差し込む光により、神秘的な空間が作られます。



五島列島ジオパーク構想

教会と念仏踊りが同居する島  
嵯峨島

長崎県五島市三井楽町嵯峨島

2つの火山が結合してできた島。写真の千畳敷では、火山の噴出物が何層も積もった地層を、波や風が削りとり、独特な景観を創り出しています。

